

概要版

Digest

おおた 都市づくり ビジョン

～ 2030年代の都市の将来像を見据え～



おおた都市づくりビジョンの策定にあたって

大田区は、羽田空港の再拡張・国際化及び空港跡地利用など新たな課題、少子高齢化の進展や工場数の減少などの社会動向の変化に対応するため、「大田区都市計画マスタープラン」を平成23年3月に改定いたしました。

その後、東日本大震災の発災や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定、区内では蒲田、大森、空港跡地及び臨海部におけるまちづくりの進展や地域の拠点におけるまちづくり機運の醸成など、区の内外を取り巻く情勢は大きく変化いたしました。



このような状況のもと、明確なビジョンを持ってまちづくりを推進していくためには、まちづくり分野の各施策の方向性や都市の将来像をわかりやすく可視化し区民と共有することが求められています。

大田区の有する高いポテンシャルを将来像として描くことで「魅力ある大田区」を示し、多方面からまちづくりへのご意見を頂くとともに、参画を促進するため、まちづくりに影響を与える社会情勢の変化等を加味した上で「大田区都市計画マスタープラン」の具体化に向け、この度、「おおた都市づくりビジョン」を策定いたしました。

今後は、「おおた都市づくりビジョン」で例示した将来像の実現に向け、魅力ある大田区の都市づくりを進めてまいります。区民の皆様、事業者の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成29年3月
大田区長

松原忠義

目次

第1章	おおた都市づくりビジョン策定の目的と位置づけ	2
第2章	都市づくりに関わる動向	3
第3章	都市の将来像	4
第4章	重点プロジェクトの推進	5
第5章	ビジョンの実現に向けて	29
[策定経緯]		30

第1章 おおた都市づくりビジョン策定の目的と位置づけ

ビジョン策定の目的と位置づけ

(1) 背景

「大田区都市計画マスタープラン」(以下「マスタープラン」という。)の改定(平成23年3月)以降、区を取りまく状況は、以下のように大きな変化が生じています。

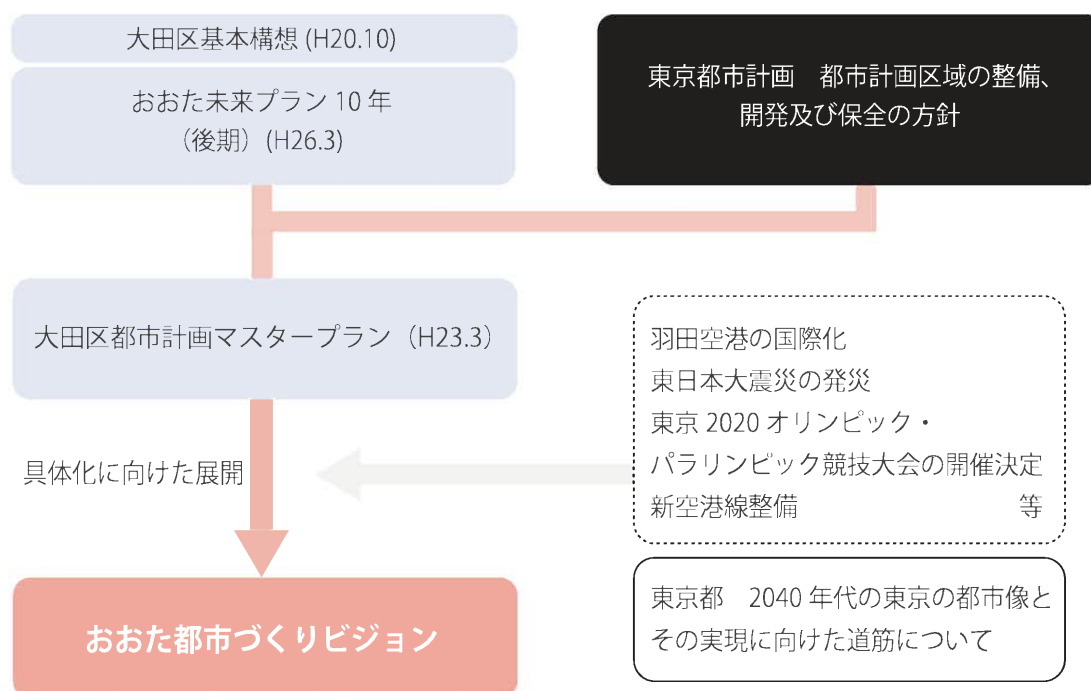
- ①羽田空港の国際化、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定
- ②新空港線整備の実現性の高まり、各地域拠点におけるまちづくりの進展 等

(2) 目的

社会情勢の変化等を踏まえつつ、明確なビジョンを持ってまちづくりを推進するために「おおた都市づくりビジョン」を策定します。

- ①マスタープランの具体化に向けた展開
- ②まちづくり分野の各施策の方向性や都市の将来像をわかりやすく可視化し区民と共有
- ③政策連携による総合的、一体的な都市づくりを推進

(3) おおた都市づくりビジョンの位置づけ



第2章 都市づくりに関わる動向

大田区を取り巻く周辺動向

(1) 社会動向（主なもの）

- 東日本大震災（平成 23 年 3 月）
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定（平成 25 年 9 月）

(2) 国や東京都の計画等（主なもの）

- 国家戦略特区（大田区を含む東京圏、平成 26 年 5 月）
- 国際戦略総合特区（羽田空港跡地、平成 23 年 12 月）
- 交通政策審議会 東京圏における今後の都市鉄道のあり方に関する小委員会答申（平成 28 年 4 月）

(3) 区周辺の開発動向

リニア中央新幹線や新空港線、国道 357 号多摩川トンネルなど、大田区を取り巻く鉄道網・道路網の整備が進展します。また、平成 26 年 3 月に羽田空港国際線ターミナルが拡張され、空港容量の更なる拡大と国際線の増枠などの機能強化が取組まれています。

1. 東海道線・京浜東北線沿線

東京都「2040 年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について 答申」では、大田区は「中枢広域拠点（都心部）」から「横浜・川崎・木更津広域拠点」に至る広域的な軸の中間に位置しています。

- ① 国家戦略特区などによる都心部の開発
- ② リニア中央新幹線の整備促進（品川駅の拠点性向上）等

2. 臨海部

広域交通ネットワークの形成や、東京港第 8 次改訂港湾計画（平成 26 年 12 月）の推進などにより、そのポテンシャルが向上しています。区は臨海部重点プロジェクト（羽田旭町周辺地区・流通センター駅周辺地区・大森ふるさとの浜辺公園周辺地区、平成 26 年 3 月）を推進しています。

- ① スポーツ施設の集積
- ② 物流施設の整備・高度化 等

3. 多摩川沿い

「首都圏広域地方計画（平成 28 年）」では、多摩川下流域において、「多摩川国際臨空拠点群の創出プロジェクト」が位置づけられています。

- ① 二子玉川や武蔵小杉におけるまちづくりの進展
- ② 新空港線の整備促進 等



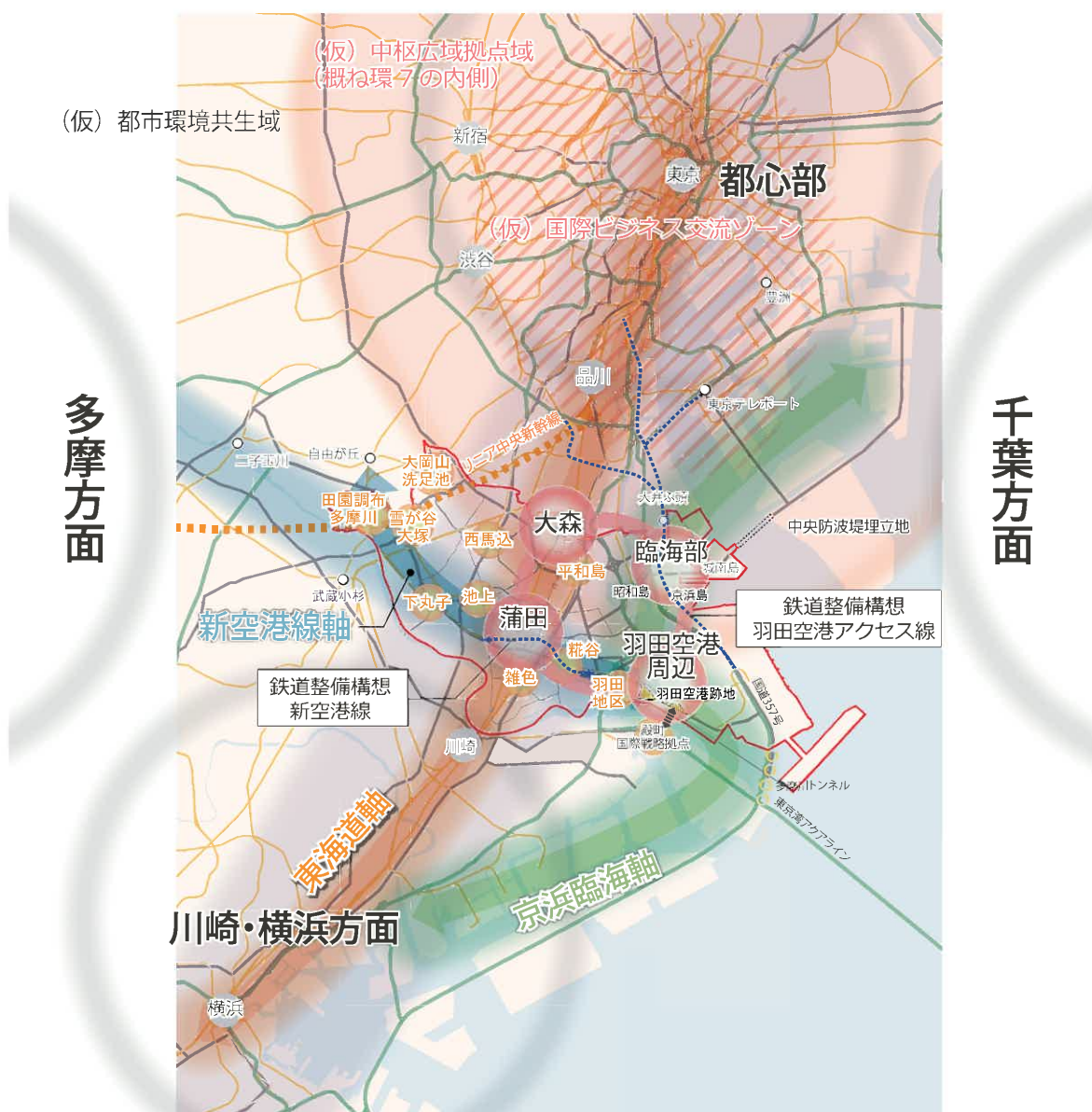
第3章 都市の将来像

将来都市構造

新たな都市づくりの視点を踏まえ、東京圏における区の役割を明確化し、まちづくりの効果を波及させるため、広域的な将来都市構造を以下の通り設定します。

東海道軸、京浜臨海軸、新空港線軸を設定し、それらが交差する蒲田、大森、羽田空港周辺、臨海部の4地域を、「スクエア」として位置づけます。

また、新空港線軸では、交流人口の増加と沿線の拠点性向上を図ります。加えて、近年のまちづくりの動向や観光資源の存在を踏まえ、駅周辺の魅力ある生活環境の形成やスポーツ健康・観光都市づくりを目指します。



※〈仮〉中枢広域拠点域、〈仮〉都市環境共生域、〈仮〉国際ビジネス交流ゾーンは、東京都「2040年代の東京の都市像とその実現に向けた道筋について答申」(平成28年9月)が示す地域区分です。
 ※中央防波堤埋立地の帰属は決定していません。

第4章 重点プロジェクトの推進

重点プロジェクト及び重点地区の設定

整備の優先性の高いテーマを踏まえ、重点プロジェクト及び重点地区を以下の通り設定します。重点地区は、「エリアが特定できるテーマ」のうち、まちづくりの動向や重点的に実施する具体的取組を踏まえ、本ビジョンで将来像を描く地区として選定します。

[エリアが特定できるテーマ]

プロジェクト① スクエアの連携

マスタープランに位置づけられた中心拠点（蒲田、大森、羽田空港周辺）は、広域的な都市構造の観点（周辺の機能開発や交通計画等）から、重要な拠点と考えられます。

また、中央防波堤埋立地を含め、広域的に機能が連なる「臨海部」をあわせて、「スクエア」とします。

「スクエア」は、東海道軸、京浜臨海軸、新空港線軸が交差する要に位置し、拠点同士が連携して、交通ネットワークの向上を図ることにより、経済・産業・文化の面で、大きな価値をもたらすことが期待されます。



重点地区

① 蒲田駅周辺



② 大森駅周辺



③ 羽田空港周辺



④ 臨海部



プロジェクト② 新空港線軸の形成

多摩川沿いでは産業集積が進んでおり、新しいビジネスとライフスタイルの創出が期待されます。

駅機能の更新・強化が必要な「下丸子」は、新空港線の整備とあわせた駅改築と交通結節機能の整備をはじめとするまちづくりにより、新空港線軸沿線地域の拠点として重点地区に位置づけます。

また、国際都市おおたの玄関口にふさわしい「羽田地区」や、マスタープランにおける地域のまちづくり拠点である「糎谷」、良好な生活環境を誇る「田園調布・多摩川」についても、新空港線軸の拠点となる重点地区として位置づけます。



重点地区

⑤ 羽田地区



⑥ 糎谷駅周辺



⑦ 下丸子駅周辺



⑧ 田園調布・多摩川



※中央防波堤埋立地の帰属は決定していません。

プロジェクト③ 駅周辺の魅力ある生活環境の形成

様々な住宅地において、生活の質を高めるためには、主要な駅周辺に都市機能を再編・集約し、後背地からのアクセスを確保することが重要です。地域の個性を活かした生活環境の形成を進めるため、防災・環境・景観面も含めた生活環境の向上を図ります。



重点地区

⑨池上駅周辺



⑩大岡山駅周辺



⑪雑色駅周辺



[区全体に関わるテーマ]

プロジェクト④ スポーツ健康都市づくり

スポーツを通じて区民が豊かで健康的な生活を営み、まちがにぎわいと活力を増していくことを目指します。

プロジェクト⑤ 観光エリアの形成・連携

「知る人ぞ知る魅力」を大切にできる世界とつながる「生活（イキイキ）観光都市」として、独自の産業と都市文化を創造し、大田区の観光を世界に発信します。

プロジェクト⑥ 防災まちづくり

巨大地震や自然災害の脅威などに対し、地域特性に応じた安全・安心なまちづくりを進めます。ソフト・ハード両面の防災まちづくり手法を総合的に駆使し、区民が住み続けながら、災害から生命と財産を守るまちを実現します。

プロジェクト⑦ みどりあふれる低炭素まちづくり

大田区が目指す環境像「環境と生活・産業の好循環を礎とした持続可能で快適な都市」を目指します。

プロジェクト⑧ 中央防波堤埋立地の将来的な利活用

大田区は、中央防波堤埋立地のポテンシャルを最大限に活かすため、羽田空港と中央防波堤埋立地を含む大田区の臨海部の機能が一体的に活用されるまちづくりを、関係機関と連携しながら進めます。

プロジェクト⑨ 公共施設の適正配置

人口構成の変化や区民ニーズの多様化・高度化に対応し、効果的・効率的な施設マネジメントによる、区民サービスの維持・向上や、地域ごとの将来のまちづくりを見据えた施設配置を目指します。

01 蒲田駅周辺



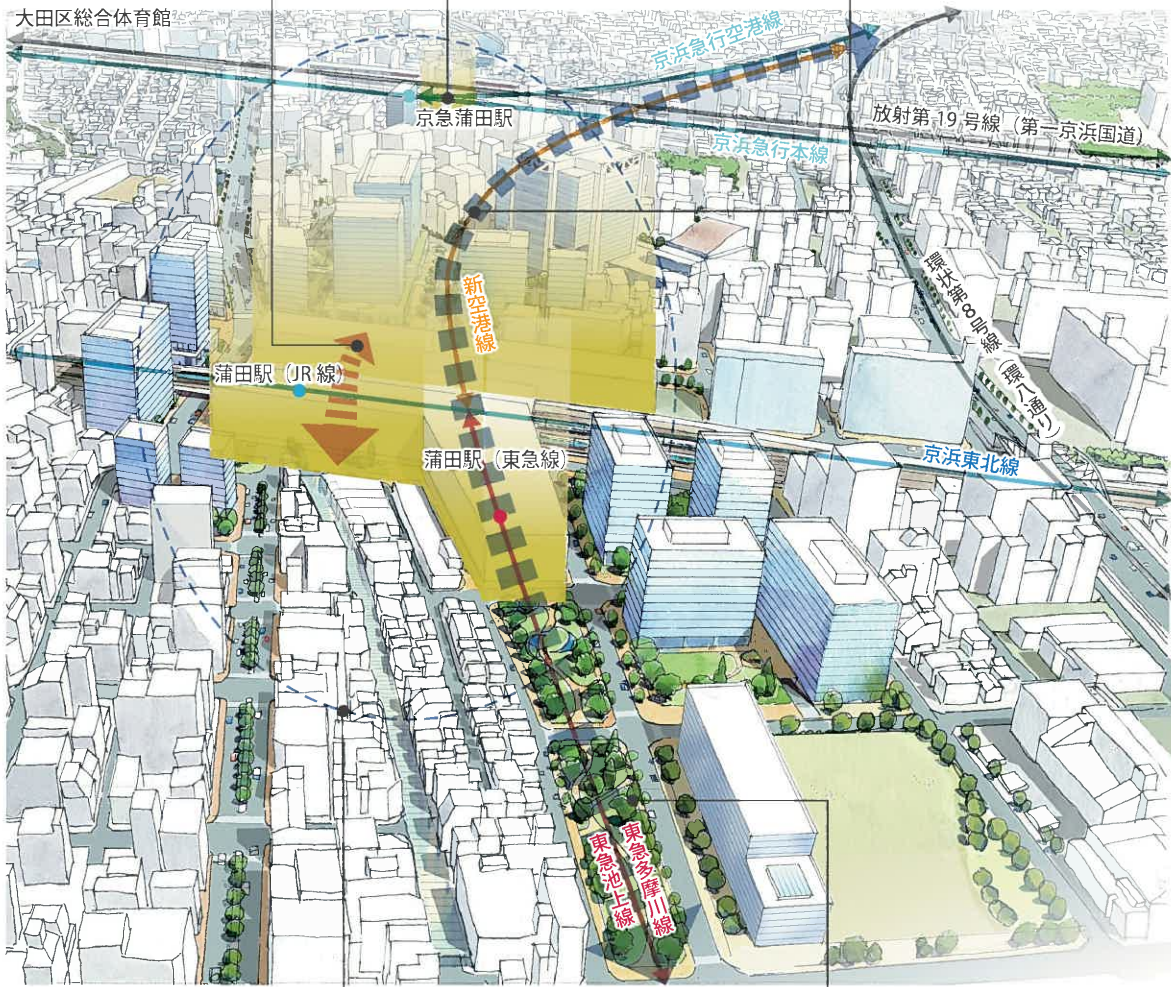
まちの将来像 にぎわいあふれる多文化共生の拠点

まちの将来イメージ（JR線・東急線方面から京急線方面を望む）

市街地の分断を解消する
東西自由通路

共同化により機能更新が進む
京急蒲田駅の西口エリア

羽田空港へのアクセス性を
強化する新空港線



駅舎や駅ビルの機能更新、駅とまちの一体的な整備、公共施設の適正配置などが進む、駅周辺の市街地の機能更新も期待される、にぎわいや回遊性が向上した蒲田駅の周辺エリア

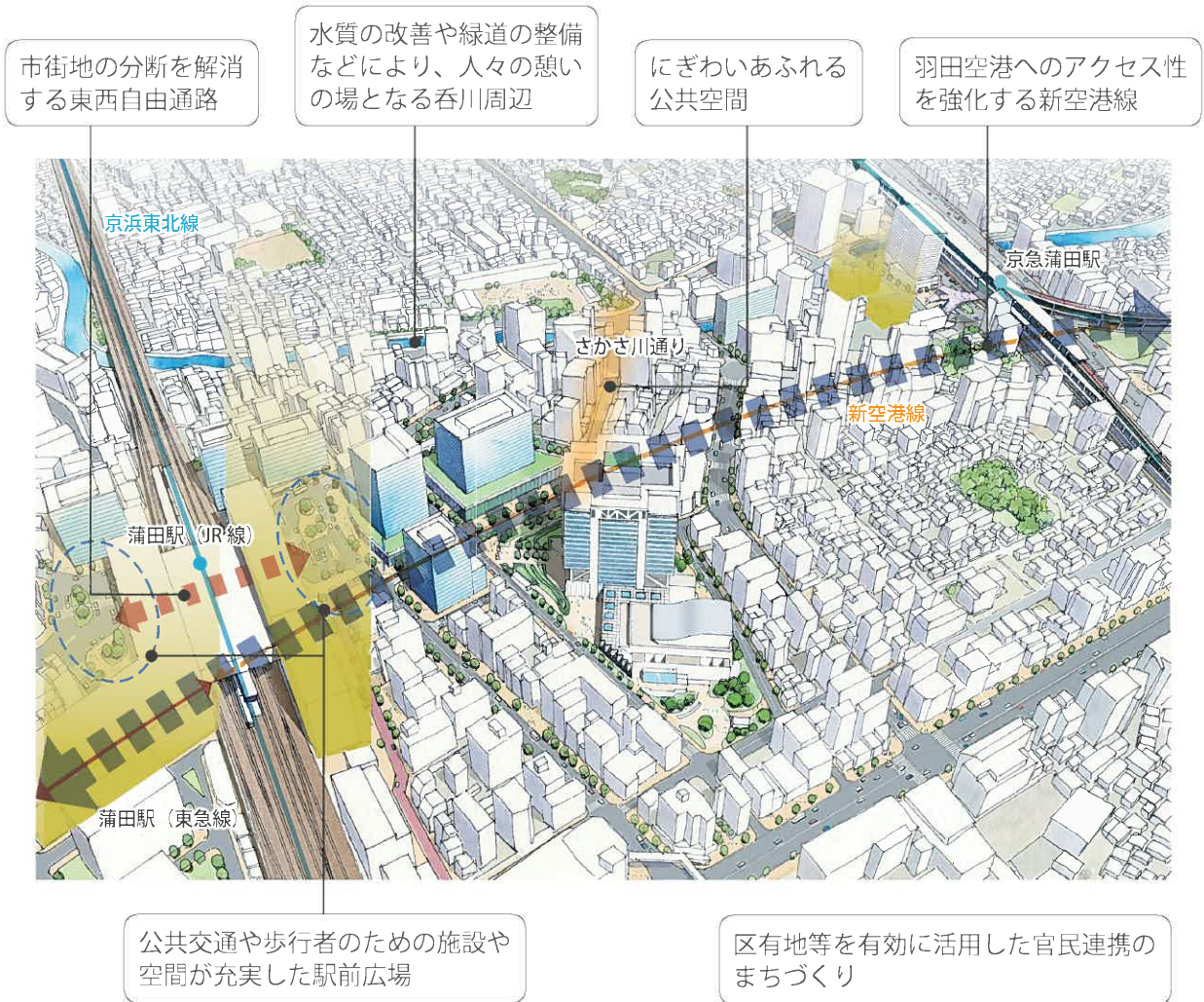
線路の地下化や開発に合わせて
生み出された緑豊かな憩いの空間

駅周辺の基盤施設整備や老朽化した市街地の機能更新に向けて、特区等様々な手法による航空法緩和や容積割増などを検討・協議

スクエアの連携プロジェクト

※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

まちの将来イメージ（JR線・東急線と京急線間のエリア周辺）



スクエアの連携プロジェクト

蒲田駅西口駅前広場 初動期整備計画
平成 30 年完成予定



蒲田駅東口駅前広場 初動期整備計画
平成 39 年完成予定



※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

02 大森駅周辺



まちの将来像

歴史・文化や浜風かおる生活と産業の拠点

まちの将来イメージ（大森駅周辺・大森海岸駅周辺）

スクエアの連携プロジェクト



市街地の機能更新などが進み、にぎわいや快適性が向上した大森駅の周辺エリア

拡幅整備された補助第28号線（池上通り）

大森駅から羽田空港や臨海部へのアクセスを強化する新たな公共交通

緊急時の避難路兼海辺の散策路

教育・文化を中心とした公共施設の複合化

産業・ビジネス機能（会議室・ホテル・居住地に近いオフィスなど）の強化

区有地等を有効に活用した官民連携のまちづくり

駅周辺の基盤施設整備や老朽化した市街地の機能更新に向けて、特区等様々な手法による航空法緩和や容積割増などを検討・協議

※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

まちの将来イメージ（大森駅周辺）

拡幅整備された補助第 28 号線

市街地の分断を解消する東西自由通路



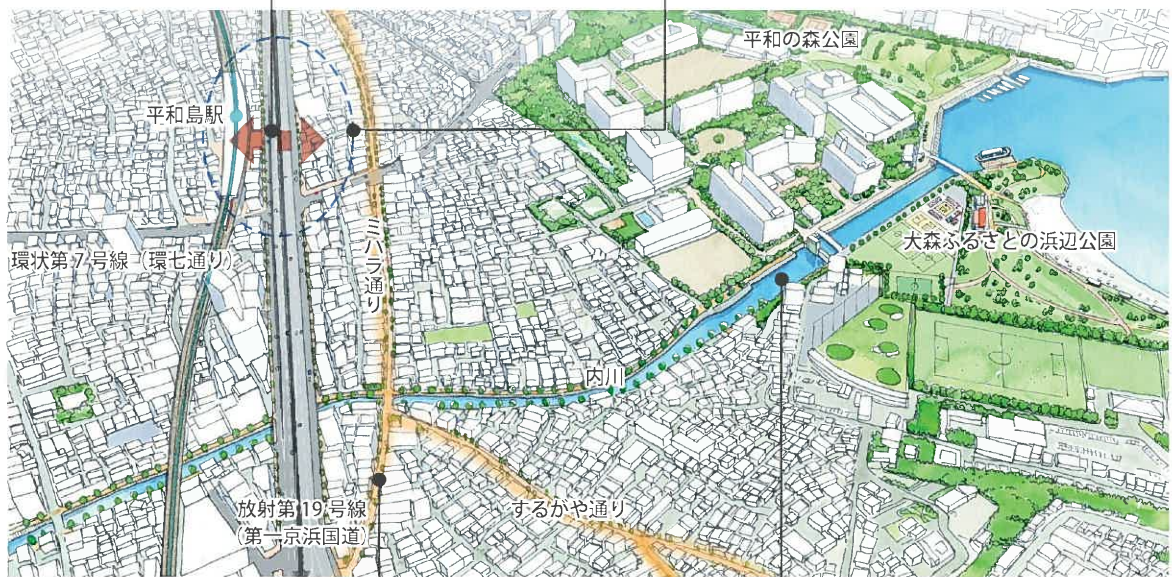
歴史文化・緑・地形を活かした良好な生活環境

公共交通や歩行者のための施設や空間が充実し、にぎわいあふれる駅前空間

まちの将来イメージ（平和島駅周辺）

歩行者横断環境が改善した放射第 19 号線
(第一京浜国道)

公共交通や歩行者のための施設や
空間が充実した駅前空間



にぎわいや風情が感じられるミハラ通り
(旧東海道)

人々の憩いの場となる内川や公園の周辺

※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

03 羽田空港周辺



まちの将来像 国内外の産業や文化が集い交流する拠点

まちの将来イメージ（羽田空港跡地周辺）

スクエアの連携プロジェクト



＜羽田空港跡地第1ゾーン＞
空港や市街地との近接性を活かした
創造と交流ゾーン

＜羽田空港跡地第2ゾーン＞
国際線地区に隣接することを活かした
交流ゾーン



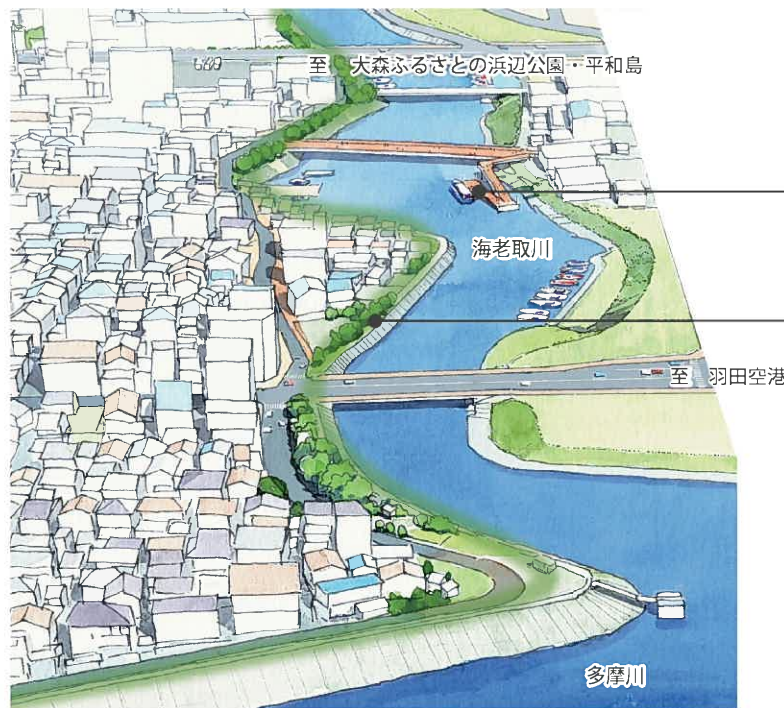
国道357号多摩川トンネルにより
広域道路ネットワークが強化

羽田連絡道路により連携強化された、
羽田空港跡地地区と川崎市殿町地区

多摩川沿いの長い水際線を活用した良好な環境
の創出と快適で魅力あふれる親水ネットワー
クの形成

※中央防波堤埋立地の帰属は決定していません。
※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

まちの将来イメージ（海老取川周辺）



舟運の拠点となる
天空橋船着場

人々の憩いの場となる
海辺の散策路

スクエアの連携プロジェクト



交通広場のイメージ（羽田空港跡地第1ゾーン）



親水緑地のイメージ（羽田空港跡地第2ゾーン）



宿泊機能のイメージ（羽田空港跡地第2ゾーン）

※ 2016年3月提案時点のイメージ



羽田連絡道路のイメージ

出典：「羽田空港周辺・京浜臨海部
連携強化推進委員会 資料」

※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

04 臨海部



まちの将来像 世界を魅了する産業・スポーツ・憩いの拠点

まちの将来イメージ (臨海部)

環境に配慮した潤いのある水辺や豊かな自然が感じられる風の道の形成

にぎわいやアメニティの機能が充実し観光拠点となる公園・運河・海辺及びその周辺エリア

埋立地活用による物流機能の強化

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会会場 (海の森クロスカントリーコース・海の森水上競技場)



内陸部と臨海部を繋ぐ新たな公共交通

運河や河川などに沿って張り巡らされた、散策路・自転車走行空間・舟運のネットワーク

- 『新スポーツ健康ゾーン』
- 大森ふるさとの浜辺公園
 - 平和の森公園
 - 平和島ユースセンター
 - 大田スタジアム
 - 大田区総合体育館
 - 大森スポーツセンター

※中央防波堤埋立地の帰属は決定していません。
※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

スクエアの連携プロジェクト

まちの将来イメージ（大森ふるさとの浜辺公園周辺）



まちの将来イメージ（京浜運河沿い）



05 羽田地区

まちの将来像
**国際都市おおたの玄関口にふさわしい、
 活力にあふれた安全・安心なまち**

まちの将来イメージ



新空港線軸の形成プロジェクト

建替えにあわせた共同化などにより防災性が向上したまち

電線類が地中化され、安全性が向上したバス通り
 趣があり観光客でにぎわう商店街

海辺の散策路の整備とともに周辺の機能更新も進み魅力が向上した水際

道路整備や市街地の機能更新が進み、安全で快適なまち

羽田空港に隣接する立地条件を活かし、ものづくり産業・人材育成・中小企業活性化などに寄与する機能を強化

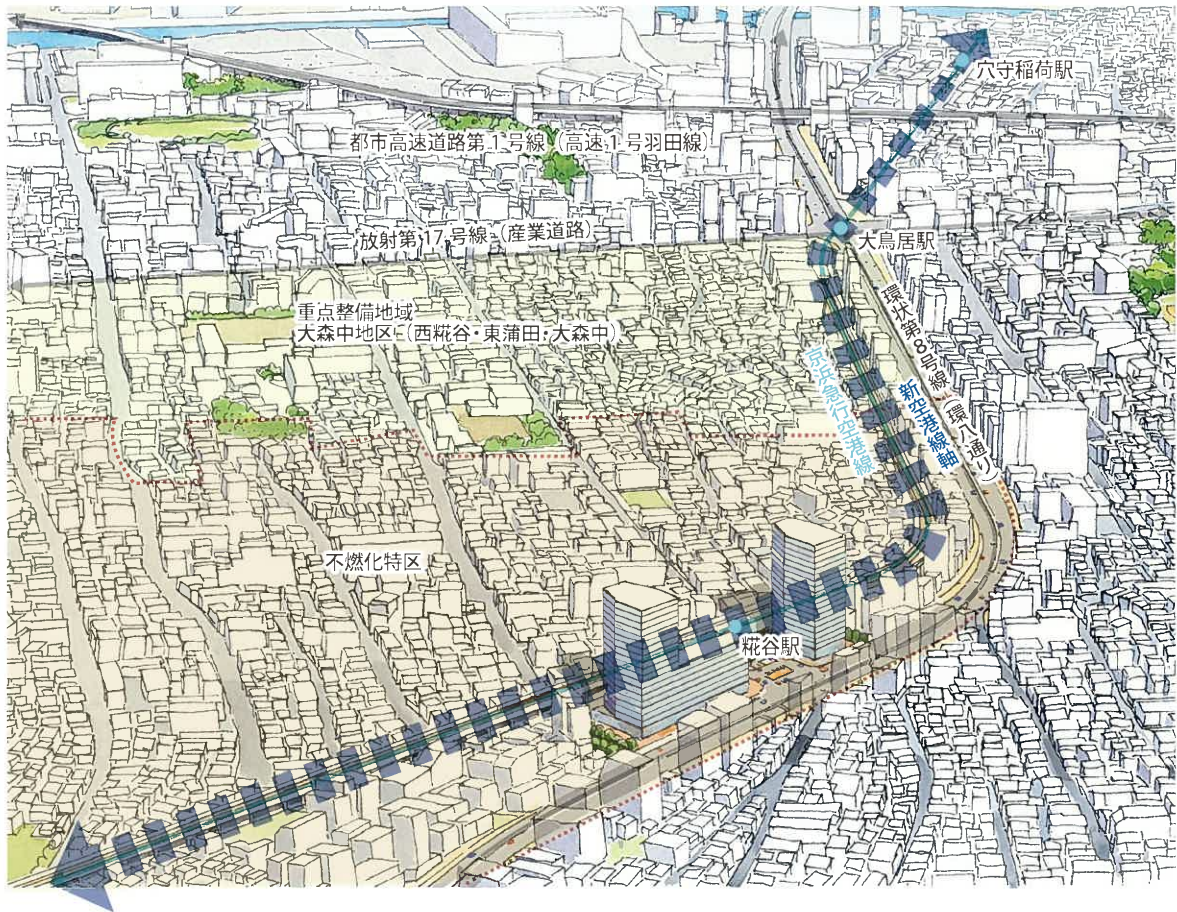
外客を受入れるための機能や取組（祭り・舟運・商店街・宿泊など）を強化

※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

06 糀谷駅周辺

まちの将来像
 空港につながり、便利で安全・安心なまち


まちの将来イメージ




駅前広場の整備・駅前の再開発・市街地の機能更新などにより、
 利便性や安全性が向上した駅周辺エリア

都市型住宅の供給による、新たな住民の獲得

木造住宅を耐火性の高い建物へと建替えることにより不燃化を促進

 不燃化特区

 重点整備地域 大森中地区
 (西糀谷・東蒲田・大森中)

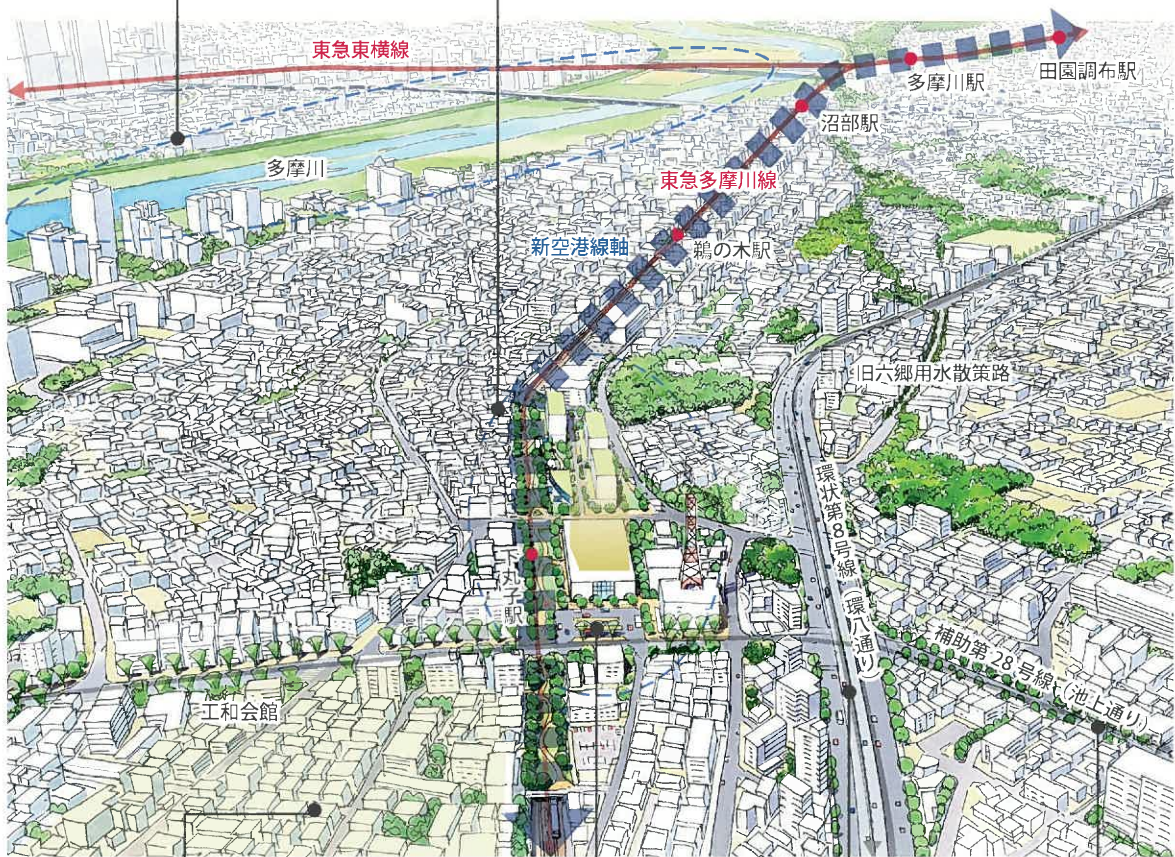
07 下丸子駅周辺

まちの将来像 空港につながり、職・住・憩い・にぎわいが集まるまち

まちの将来イメージ

交流・健康・スポーツなどへの活用と魅力の発信が進む多摩川の水辺空間

道路と鉄道の立体交差化・鉄道駅の機能強化・区民プラザの建替えなどを契機として、駅前広場の整備や都市機能の集積が進み、交通結節機能や利便性が向上した駅周辺エリア



リノベーションやオープンファクトリーなどにより、地域の産業や交流が活性化

公共交通や歩行者のための施設や空間が充実した駅前広場

立体交差化された環状第8号線(環八通り)

拡幅整備された補助第28号線(池上通り)

08 田園調布・多摩川

まちの将来像

文化の香り漂う緑豊かなゆとりと潤いのあるまち

まちの将来イメージ



(仮称) 田園調布せせらぎ公園文化施設

多摩川の水辺空間や公園などをつなぐ
回遊ネットワーク

公共施設の適正配置や公園の拡張整備により、
利便性や快適性が向上した駅周辺エリア

周辺の良好な景観に配慮した、
低層住宅を主体とする市街地の保全

旧六郷用水散策路の再整備

多摩川を地域資源ととらえた、
水辺と一体的な散策路による回遊性の向上

新空港線軸の形成プロジェクト

※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

09 池上駅周辺

まちの将来像

歴史・文化・自然を大切にし、にぎわいあふれ、
区民や来街者が快適に過ごせるまち

まちの将来イメージ

拡幅整備された補助第 43 号線

参道の景観整備

拡幅整備された補助第 28 号線（池上通り）



機能強化がなされた池上駅

交通広場や道路の整備などにより
交通結節機能が向上した駅前空間

池上本門寺の魅力を生かす
景観整備

地域資源のネットワーク化による区外からの観光利用を促進

魅力ある生活環境の形成プロジェクト

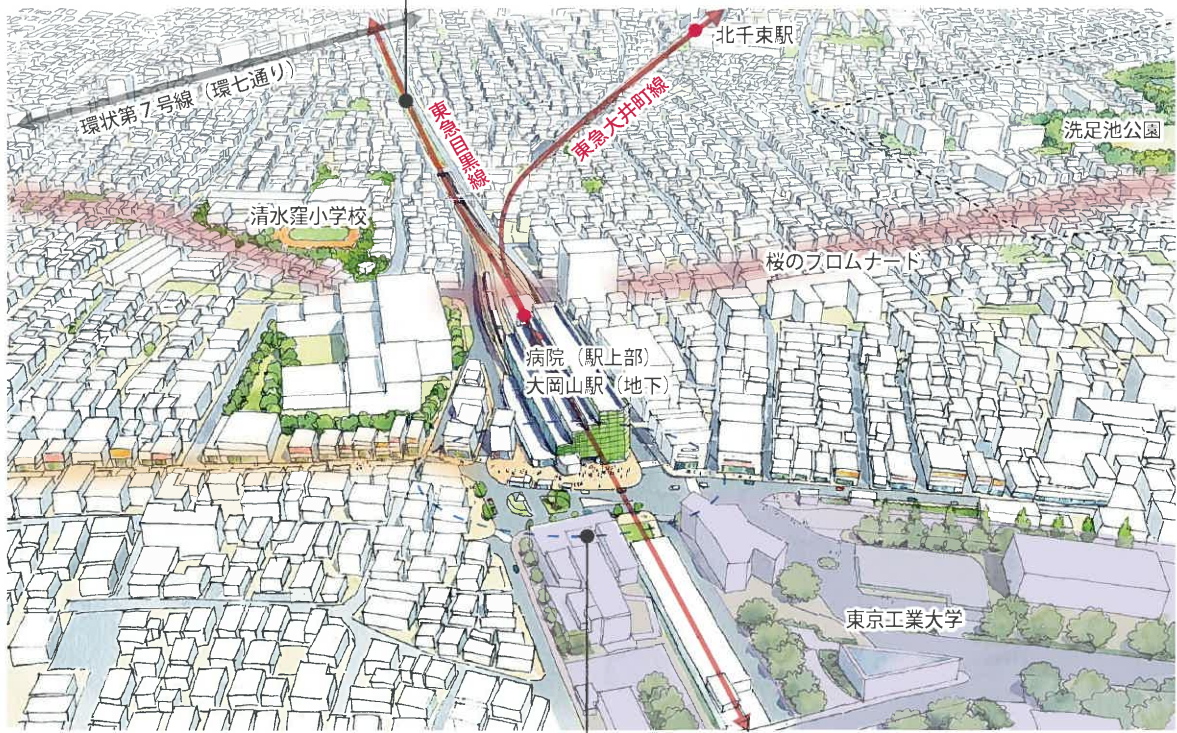
※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

10 大岡山駅周辺

まちの将来像
**学術とにぎわいが共存し、
 緑豊かな住環境が保たれたまち**

まちの将来イメージ

うるおいや親しみのある遊歩道



洗足風致地区



遊歩道のイメージ

- ゆとりや、にぎわいのある駅前空間
- 清水窪小学校のおおたサイエンススクールの充実
- 駅周辺への機能集約による商店街等の活性化
- 住民の健康イベント等、ソフトな施策の推進
- 東京工業大学や商店街等との連携による、産学官民まちづくりプロジェクトの推進

魅力ある生活環境の形成プロジェクト

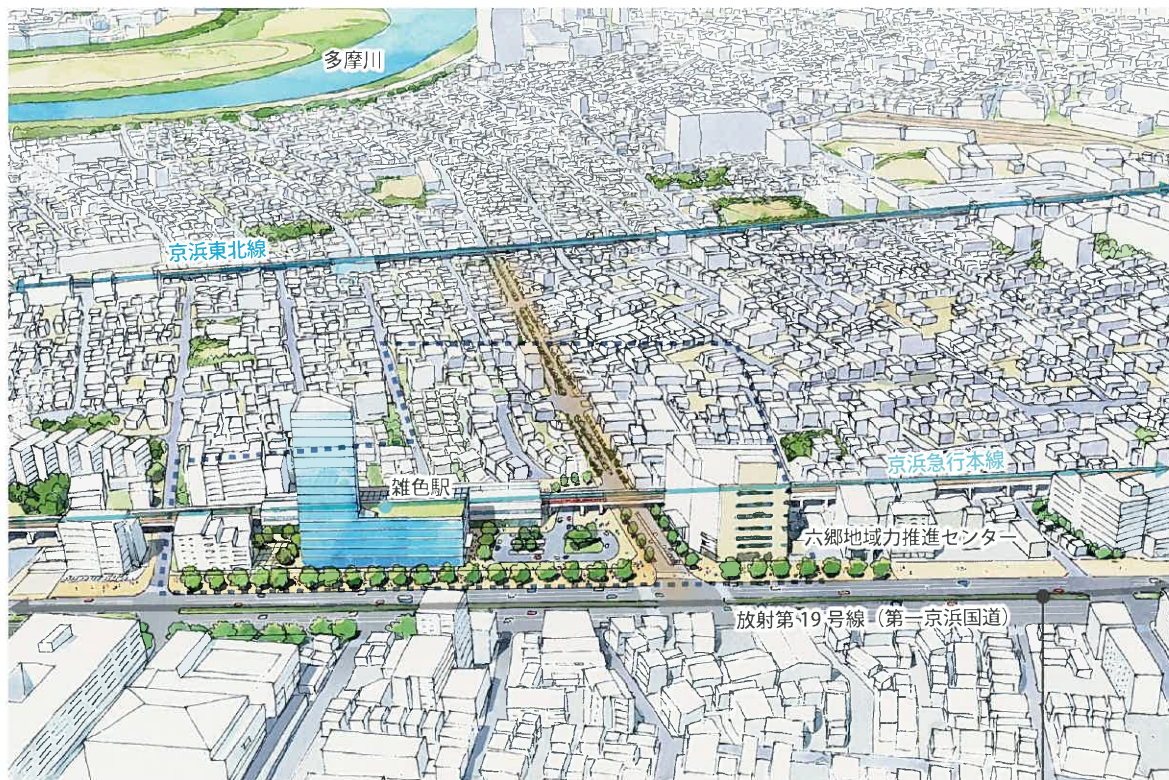
※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

11 雑色駅周辺

まちの将来像

親しみやにぎわいのある安全・安心なまち

まちの将来イメージ



まちづくり重点地区



駅前空間のイメージ

駅前広場の整備・駅前の再開発などにより、利便性や安全性が向上した駅周辺エリア

新しいものと馴染みのものが融合した、来街者も楽しめる雑色駅前通り商店街の形成

工業集積の維持・強化に向けた土地利用及び地域の特性に見合った工業の配置、住環境との調和

拡幅整備された放射第19号線(第一京浜国道)

安全で快適な歩行者空間の整備

自転車駐車場の整備

スポーツ健康都市



将来像

スポーツを通じて区民が豊かで健康的な生活を営み、まちがにぎわいと活力あふれる「スポーツ健康都市」

取組の方向性

1. 「する」スポーツ

継続的にスポーツを「する」ことができる環境づくりに取り組み、心身の健康増進や生きがいに満ちた生き方を実現できるようにします。

2. 「みる」スポーツ

スポーツへの関心・理解を深めるとともに、スポーツ参加の契機となることを目的に「みる」スポーツを推進します。

3. 「支える」スポーツ

スポーツを「支える」ことで、多くの人々が交わり共感し合うことにより、地域の絆を強めていきます。

将来イメージ＜スポーツ施設の配置方針図＞



大森スポーツセンター



区立公園唯一の白砂の海浜公園周辺にビーチバレーコートなどを整備



青少年中心の宿泊型施設。国内外のアスリートなど利用できる多機能型施設へ整備



全面人工芝を使用した都内有数の公認野球場



※中央防波堤埋立地の帰属は決定していません。
 ※本頁に記載の内容は、今後変更の可能性があります。

区全体のテーマ

観光エリアの形成・連携



将来像

「知る人ぞ知る魅力」
を大切にしながら世界
とつながる「生活観光
都市」

取組の方向性

1. 空港

羽田空港を起点とし、大田区内に羽田空港利用者を誘客する仕組みをつくります。

2. 水辺

多摩川、運河、臨海部等、大田区の水辺のにぎわいと魅力を創出し、水辺空間の活用を図ります。

3. 回遊

大田区の観光コンテンツを活用し、地域の魅力を発信していくとともに、区内の回遊性を高めます。

将来イメージ＜観光まちづくり方針図＞



区全体のテーマ



(仮称) 勝海舟記念館 (旧清明文庫)



洗足池公園



大田区観光情報センター

※中央防波堤埋立地の帰属は決定していません。
※本頁に記載の内容は、今後変更の可能性があります。

まいせん（馬込・池上・洗足池）

まちの将来像

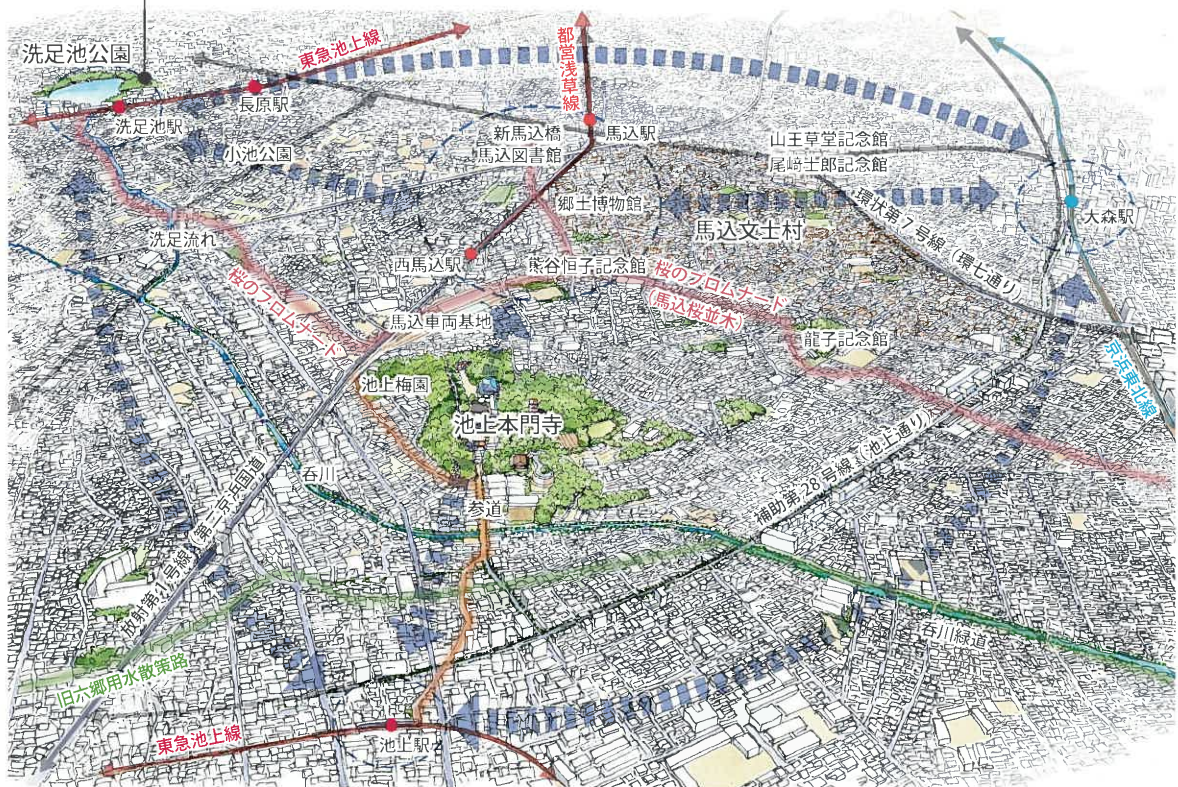
歴史・文化・自然の回遊が楽しめる、
区民や来街者を惹きつけるまち

まちの将来イメージ

（仮称）勝海舟記念館（旧清明文庫）の整備などにより、自然と歴史文化の拠点となる洗足池公園

充実した交通ネットワーク

・鉄道 ・バス ・コミュニティサイクル など



歴史や文化を感じる街並み

- ・池上本門寺周辺
- ・馬込文士村 など

にぎわいあふれる商店街

自然豊かな憩いの場

- ・洗足池公園
- ・小池公園
- ・本門寺公園
- ・池上梅園 など

回遊を楽しめる散策路

- ・桜のプロムナード
- ・馬込桜並木
- ・呑川緑道
- ・洗足流れ など



小池公園



呑川緑道



桜のプロムナード

※本頁に記載の内容は、将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

区全体のテーマ

防災まちづくり



将来像

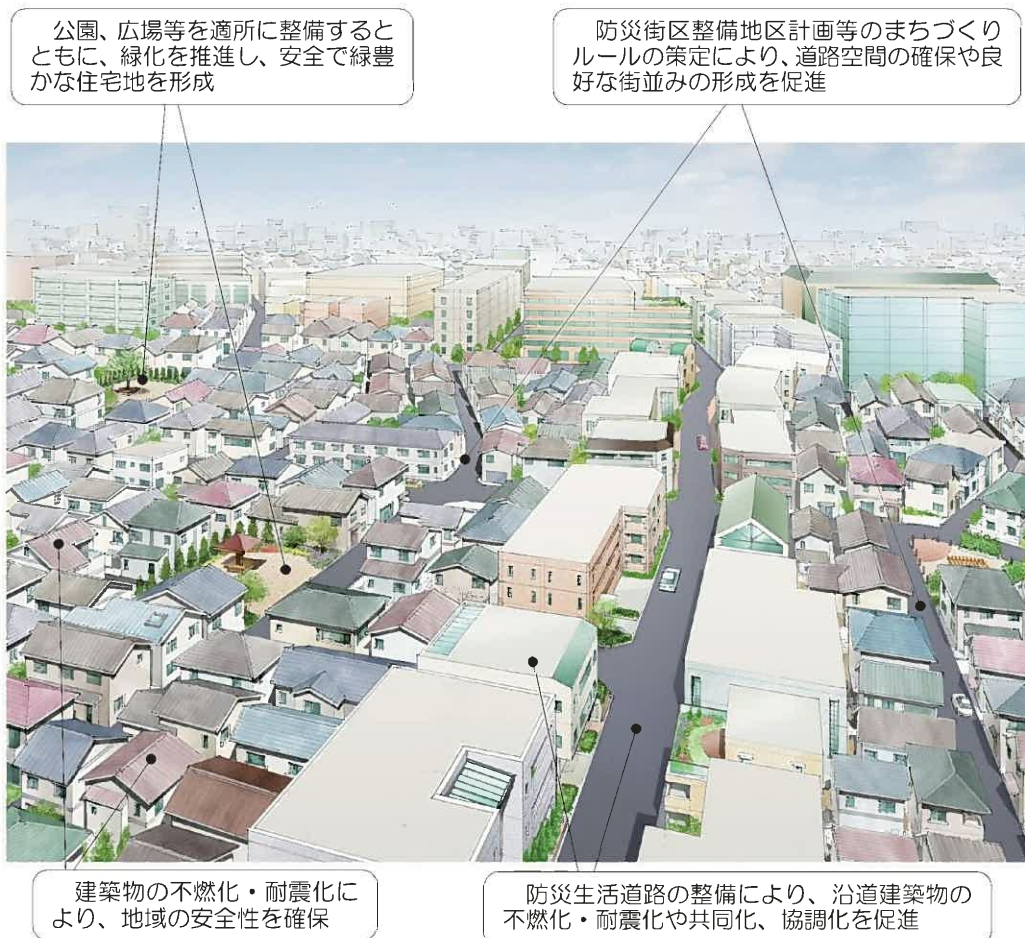
首都直下型地震や豪雨による水害、土砂災害の発生などの自然災害に対し、安全で安心して暮らせるまち

取組の方向性

首都直下地震による建物倒壊や延焼火災を防ぐため、耐震化・不燃化に加え、災害後の復旧・復興を見据えた防災・減災対策を進めます。

また、巨大地震に加え、水害、土砂災害の発生など様々なリスクに対し、復興対策の手順や進め方を事前に検討し災害に強い市街地を整備する「事前復興」による防災まちづくりにも取り組めます。加えて、地域主体の防災・防犯まちづくりを進めます。

「事前復興」による防災まちづくりのイメージ



出典：東京都都市整備局
「防災都市づくり推進計画(改定)」

※本頁に記載の内容は、今後変更の可能性があります。

みどりあふれる低炭素まちづくり



将来像

環境にやさしい低炭素社会や自然共生社会の構築によって次世代に引き継がれる持続可能なみどりあふれるまちづくり

取組の方向性

行政や企業だけが取り組むのではなく、区民等一人ひとりが環境問題、みどりなどに対する意識を高め、生活様式を変革し取組を推進します。

多様な主体との連携・協働を通じて、快適で安全な暮らしの実現を次世代にわたって持続させます。

また、多摩川沿いの豊かな自然環境、にぎわい、居住環境が調和した魅力ある拠点のネットワーク形成を進め、新しいビジネスとライフスタイルを創出します。

将来イメージ<みどりの配置方針図>



※中央防波堤埋立地の帰属は決定していません。
 ※本頁に記載の内容は、今後変更の可能性があります。

中央防波堤埋立地の将来的な利活用



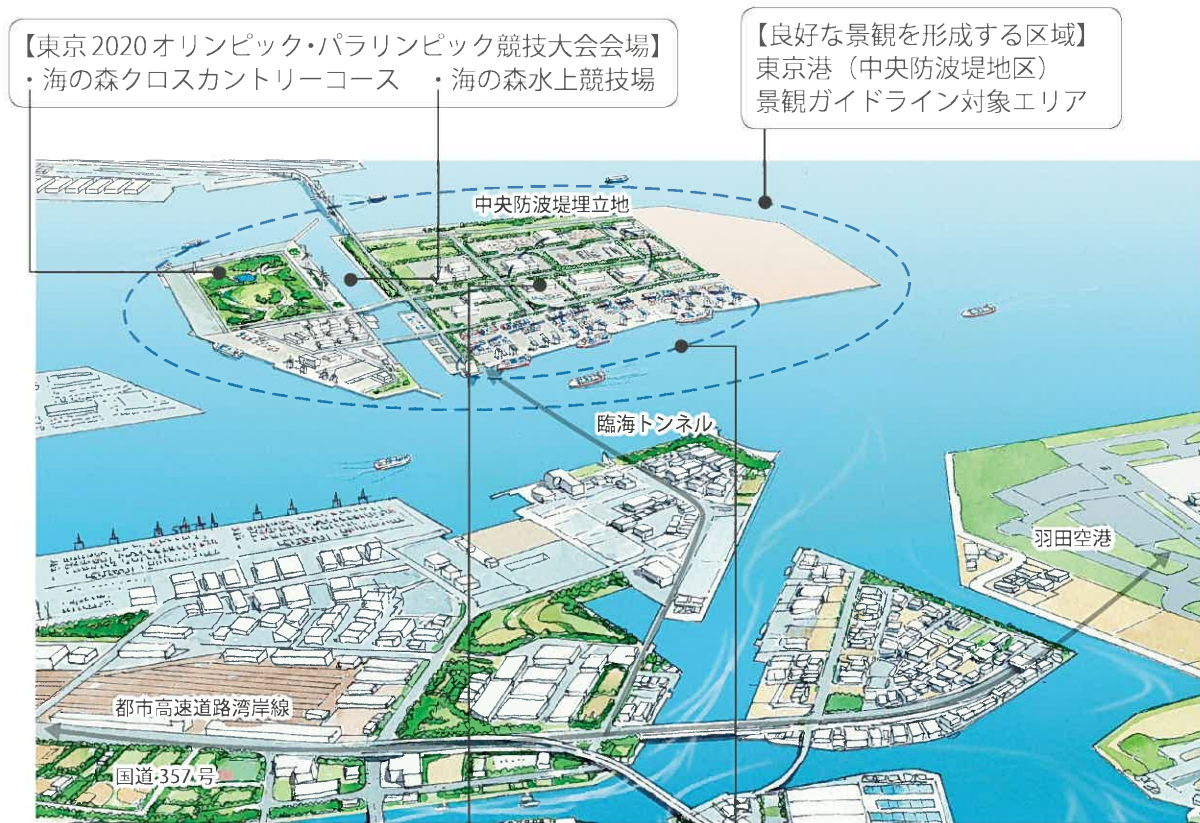
将来像

中央防波堤埋立地のポテンシャルを最大限に活かした空港臨海部の輝く未来の創出

取組の方向性

1. 中央防波堤埋立地付近の海面が、かつて「大田区民の生産と生活の場」であった歴史的沿革などに基づき、中央防波堤埋立地の大田区への全島帰属に向けた取組を積極的に展開します。
2. 今後の東京港の施設整備計画や空間利用計画、環境施策等については、東京都の港湾計画に示されています。さらに発展が期待される羽田空港と東京港の可能性を十分に発揮させるためには、そのバックヤードとなる羽田空港周辺や大田区の臨海部のまちづくりを総合的に進める必要があります。区では、帰属問題の早期解決を図り、東京都をはじめ関係機関と緊密に連携しながら、大田区の空港臨海部と連続した魅力溢れる空間の創出を目指していきます。

将来イメージ



平成 26 年 12 月に東京港港湾計画が改訂され、より多くの港湾関連用地を確保するよう、土地利用計画が変更

新たなコンテナふ頭が整備され、東京港の国際物流機能が強化

※中央防波堤埋立地の帰属は決定していません。
※本頁に記載の内容は、東京都の港湾計画を踏まえ将来のイメージを示すものであり、今後変更の可能性があります。

公共施設の適正配置



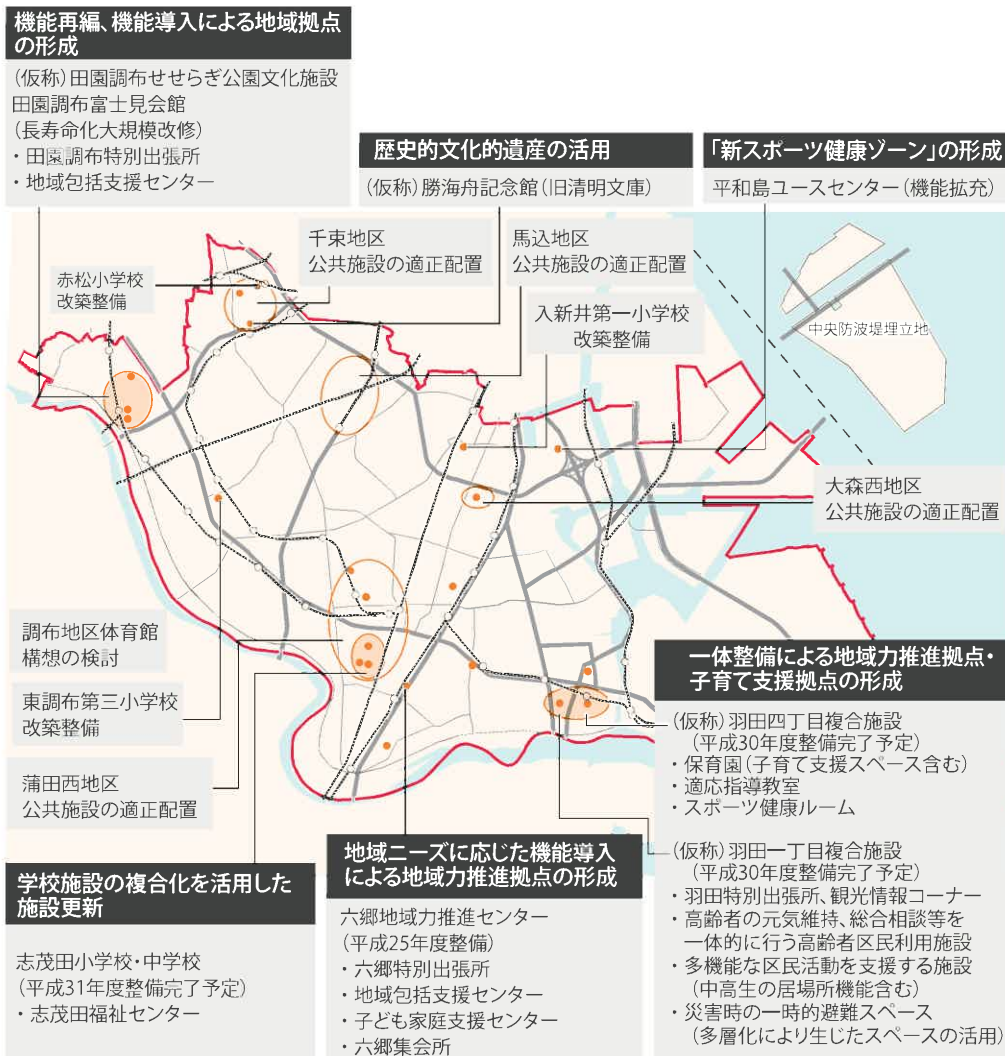
将来像

効果的・効率的な施設
マネジメントによる区
民サービスの維持・向
上の実現

取組の方向性

1. 地域ごとの将来のまちづくりを見据えた、施設の適正配置の実現
2. 施設重視から機能重視への転換による、施設の集約及び有効活用
3. 学校施設の複合化・多機能化による、地域コミュニティの活動拠点づくり
4. 適切な維持管理、長寿命化による財政負担の平準化及びライフサイクルコストの削減
5. 公民連携手法の検討（民間事業者との連携、協働）、推進体制の構築等

将来イメージ＜公共施設の適正配置の取組＞



※中央防波堤埋立地の帰属は決定していません。
※学校改築は公共施設適正配置方針に基づき複合化を視野に入れ検討を進めます。

第5章 ビジョンの実現に向けて

地域力の結集・発揮による都市づくり

社会状況が変化する現代において、魅力ある都市づくりを進めていくためには、地域力を結集することが重要です。今後は都市づくりの担い手となる多様な主体（区民、事業者、行政など）との対話や「おおた都市づくりビジョン」で示した将来像の実現に必要な「地域力・人・アイデア・技術・場所・資金」等の結集を促進します。

(1) 重点プロジェクトの推進に向けた方策

重点プロジェクトのうち、既存のまちづくり計画が策定されている地区及びテーマについては、その発展・深度化を図ります。

一方、まちづくり計画が策定されていない重点地区においては、地域の想いを踏まえた、新たなまちづくり計画の策定を目指します。

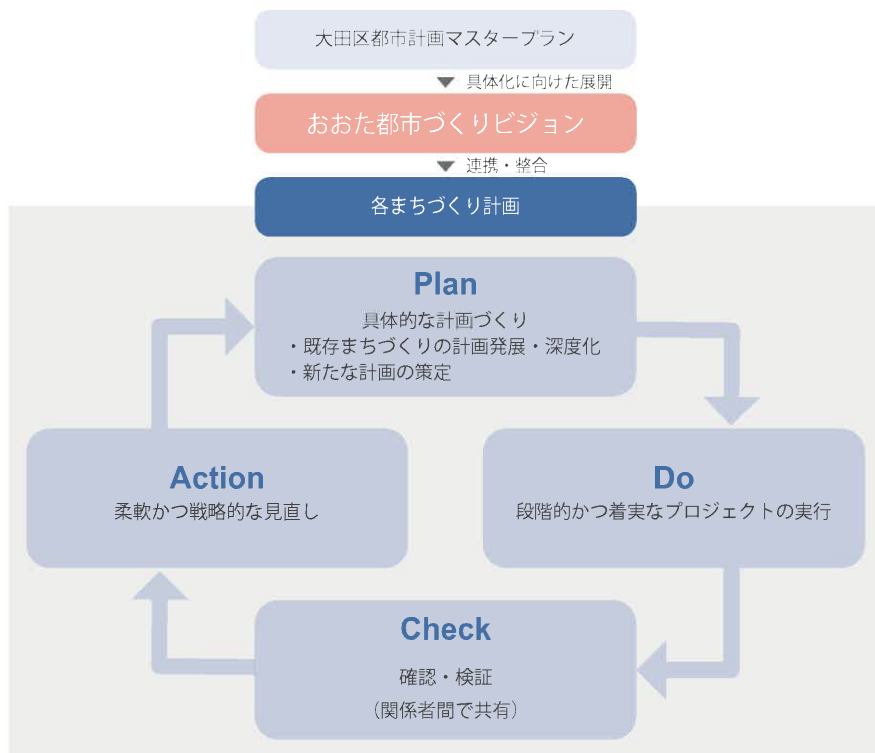
(2) 重点プロジェクトの実行・支援

区が実施主体となる重点プロジェクトについて、適正に進行管理し、段階的かつ着実な推進に努めます。また、重点プロジェクトを進めるうえで多様な主体との連携・協働や地域力が必要となるものについては、適切に支援していきます。

(3) まちづくり計画の確認及び見直し

まちづくり計画を段階的かつ着実に実行する過程において、その目標や進捗状況等について、確認・検証することとします。

また、計画の推進及び一層の展開を図るため、確認・検証結果を関係者間で共有するとともに、柔軟かつ戦略的に適宜まちづくり計画の見直しを行っていきます。



策定経緯

(1) 検討体制：おおた都市づくりビジョン策定検討会 委員名簿

	氏名	選出区分	組織
会長	岸井 隆幸 <small>きしい たかゆき</small>	学識経験者	日本大学理工学部教授
副会長	村木 美貴 <small>むらき みき</small>	学識経験者	千葉大学大学院工学研究科教授
委員	野原 卓 <small>のほら たく</small>	学識経験者	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院准教授
委員	深川 幹祐 <small>ふかがわ みきひろ</small>	大田区議会議員	都市整備委員長
委員	玉川 英俊 <small>たまがわ ひでとし</small>	大田区議会議員	都市整備副委員長
委員	黒澤 明 <small>くろさわ あきら</small>	区職員	まちづくり推進部長
委員	町田 達彦 <small>まちだ たつひこ</small>	区職員	都市開発担当部長
委員	荒井 昭二 <small>あらい しょうじ</small>	区職員	都市基盤整備部長

(敬称略)

(2) 検討経緯

年月日	事項
平成 28 年 6 月 6 日	庁内検討委員会準備会 ・検討体制、検討スケジュールについて
平成 28 年 6 月 27 日	第 1 回策定検討会 ・都市づくりに関わる動向および現況について ・都市づくりの視点について
平成 28 年 8 月 9 日	学識調整勉強会（策定検討会の学識委員を交えた勉強会） ・マスタープラン策定後の動向について ・重点プロジェクトの設定について
平成 28 年 9 月 1 日	第 1 回策定庁内検討委員会 ・マスタープラン策定後の動向について ・重点プロジェクトの設定について
平成 28 年 10 月 7 日	第 2 回策定検討会 ・重点地区の設定について ・重点地区の課題と将来像について
平成 28 年 11 月 25 日	第 2 回策定庁内検討委員会 ・おおた都市づくりビジョンの内容について
平成 28 年 12 月 9 日	第 3 回策定検討会 ・おおた都市づくりビジョン（素案）について
平成 29 年 1 月 16 日～2 月 5 日	パブリックコメントの実施
平成 29 年 2 月 8 日	第 3 回策定庁内検討委員会 ・パブリックコメントについて ・おおた都市づくりビジョン（案）について
平成 29 年 2 月 14 日	第 4 回策定検討会 ・パブリックコメントについて ・おおた都市づくりビジョン（案）について
平成 29 年 3 月 31 日	おおた都市づくりビジョン策定

OTA's VISION FOR URBAN DESIGN

～ Looking towards the future vision of the city in the 2030s ～

大田区まちづくり推進部

平成 29 年 3 月発行

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目 13 番 14 号

☎ 03-5744-1111 (代表)